

		意見の概要	対応状況
I 人材の育成等	1	<p>■羽原委員</p> <p>・人材育成事業等により、地域の文化に関わることとなった人たちが、どう関わっていくのかが肝要だと思う。そのため、どのように地域の文化を担っているのかウオッチできる仕組みや、より活動を推進できるようファローアップできる仕組みがあるとよい。</p>	<p>【生活文化課】</p> <p>次のとおり文化活動団体や個人に対して支援を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化団体連合加盟団体をデータベース化しホームページで紹介(加盟する全50団体)するとともに文化団体連合を通じて団体の活動を補助 ・伝統文化団体を市町村ごとにリスト化(119団体)し発表機会を提供(R3年度19団体) ・「いばらき文化振興財団登録アーティスト」(R3年度末登録数:84人・6グループ)について、財団の自主公演事業での出演をはじめ出前講座事業や市町村等が主催する演奏会への派遣を実施 ・いばらき文化振興財団の文化活動助成事業を通じて、団体や個人が行う文化・芸術に関する成果発表活動等に対する支援を実施 (R3年度実績:43件 R4年度助成決定:57件) <p>【文化課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校での文化芸術体験活動に協力できる芸術家・団体の名称や活動分野、活動内容等の情報を、教育情報ネットワークで紹介している。
II 文化の振興	2	<p>■大橋委員</p> <p>・子どもたちに発表の場を与えることが大事。特にリアルでの体験が一番と思うため、発表の機会をつくり、いかにそこに人を集めるかを努力していただきたい。</p>	<p>【生活文化課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化団体の活動支援のため、イベント主催者と団体とのマッチングの実施や、子ども伝統文化フェスティバルを開催し発表機会を確保し、コロナ禍においてもR3年度はR1年度を超える発表機会を提供した。 (R1年度:15団体、R2年度:11団体、R3年度:19団体) ・特に子ども伝統文化フェスティバルでは、子どもに発表機会を提供することに重点を置き実施し、同様にコロナ前を超える出演者数となった。 (R1年度:8団体63人、R2年度:中止、R3年度:11団体84人) ・今年度も、前年度を超える発表機会の提供数(30団体超)及び子どもフェスでの子どもの出演者数の確保(84人超)に努めていく。 ・また、ホームページやツイッターなどでの広報活動により集客に努めていく。 <p>【文化課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の創作活動の成果を発表・展示する場として、小中学校芸術祭(美術展覧会)、高等学校総合文化祭を開催するほか、全国高等学校総合文化祭に代表校を派遣している。 ・令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響により規模を縮小して開催しているが、今後の感染状況等を見据えながら、開催方法や観覧等について検討していく。

		意見の概要	対応状況
IV 文化活動の充実	3	<p>■生田目委員</p> <p>・計画の中に、障害者等が、美術館などにおいて健常者と同様に展示解説等の必要な情報が得られるよう、新たな仕組みの導入を進めるとあるが、具体的な取組状況はいかがか。</p>	<p>【文化課】</p> <p>・天心記念五浦美術館の常設展示を紹介するYouTube動画において文字テロップを付加して配信しているほか、自然博物館の常設展の一部について展示解説アプリを活用した音声ガイドを導入しているところ。</p> <p>・今後は、コンテンツの充実や他館への拡大について検討していく。</p>
	4	<p>■吉澤委員</p> <p>・文化芸術活動について、社会人になって辞めてしまう人が多いと感じている。経済的な問題もあるかもしれないが、大学まで美術や書などに進んでも、社会人になったら離れてしまう人が多いので、そこを応援するような仕組みがあるとよい。</p>	<p>【生活文化課】</p> <p>・団体や個人が行う文化・芸術に関する成果発表活動等に対する支援事業である、いばらき文化振興財団の文化活動助成事業について、より多くの人が活用できるよう周知を行うことなどにより、文化芸術活動を継続して実施できるように努めていく。</p> <p>(R3年度実績:43件 R4年度助成決定:57件)</p>
V 文化活動の支援体制の充実等	5	<p>■小沼委員</p> <p>・今後の文化行政においては、茨城県の財産である素晴らしい作家の方たちや作品、オーケストラなどの文化芸術をデジタルアーカイブとして、いつでもみられるように、後世に残すことも考えていけないといけな。</p>	<p>【生活文化課】</p> <p>次のとおりWeb配信を開始したところであり、今後もWebコンテンツ充実に努めていくとともに、また、デジタルアーカイブの制作についても勉強していく。</p> <p>・いばらき文化振興財団のホームページ内にWebチャンネルを開設し、財団主催コンサートや登録アーティストの紹介動画などを配信(R3年度:43件)</p> <p>・移動展覧会のギャラリートークのWeb配信</p> <p>・Web出前講座の実施(R3年度:音楽5講座)</p> <p>【文化課】</p> <p>・近代美術館、陶芸美術館及び歴史館においては、所蔵作品や所蔵資料等のデジタルアーカイブ化を進めており、各館のHPで公開しているところ。</p> <p>・その他、県内に伝わる無形民俗文化財の映像を収集し、YouTube上で公開する「いばらきの郷土民俗芸能アーカイブス」を令和3年度から開始しており、今後、映像の充実を図っていく。</p>